

日本電線～大日電線営業報告書概要

1:文書群番号	092012
2:文書群名	日本電線～大日電線営業報告書
3:出所	-
4:家業・役職等	-
5:地名	
6:行政区分	
7:歴史	日本電線製造は、尼崎市内にある横浜電線大阪工場（大正元年（1912）尼崎町向島に移転）と古河鋳業尼崎工場が、大阪市西淀川区境川で操業していた日本電線製造と合併し、大正9年資本金500万円で発足した。合併後は境川の工場を尼崎に集約し、大阪工場とした。新発足した日本電線は昭和6年、東京の日本電線株と区別するため、社名をこれまでの通称であった大日電線に改称、昭和24年上場して業界有力3社に次ぐ地位を占めた。39年には日本電線と合併して大日日本電線となり、さらに61年7月からは三菱電線工業となった。
8:伝来	平成4年（1992）10月9日に古書籍商より購入し、平成15年に整理・目録作成を完了した。
9:史料入手先	古書籍商
10:点数	21点（目録件数21件）
11:年代	昭和4年（1929）～昭和16年
12:構造と内容	本文書群は、日本電線製造株（のちの大日電線）の昭和戦前期の営業報告書で、昭和4～7年度と9～16年度のもので構成されている。
13:関連史料	なし
14:閲覧条件	原本
15:作成者	坂江 愛